

活動報告（6月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：キャベツ追肥散布用ドローンの検討会を開催

日時：令和4年6月2日（木）

場所：愛知県豊橋市



試運転したドローン



検討の様子

6月2日(木)、トヨタネ研究農場（豊橋市）において、トヨタネ株式会社、中日本アグリサービス、JAとぴあ浜松及び西部農林事務所の担当で、キャベツ追肥用ドローン試運転による検討会を行いました。

JAとぴあ浜松のキャベツは加工業務用として作付け面積が増えており、若手農家や法人を中心に農地を集積し、スマート農機導入による効率的な安定生産を行うことが産地の課題となっています。

今回試運転したDJI製のドローンは粒状肥料40kgまたは液肥30リットルをタンクに搭載できます。1回の飛行時間8分で最大2haの散布が可能で、労力と作業時間の大幅な削減が期待されます。9月には、同機を使い、浜北区のキャベツ圃場で実際のドローン追肥散布を行う予定です。

引き続き、西部農林事務所はキャベツ産地の強化を支援していきます。